Baby, please kill me.

けどそれだけじゃないような…
じー
うっ…

何だその意味不明な言いがかりは
えっ…だって

実は昨日食べ過ぎちゃって…
あっそうなんだー

ソーニャちゃんがそうだって
なっ!?

どうりで何か違うと思った…
あっ

お前…あれを見て何かおかしいと感じなかったのか?
え…

ソーニャちゃん!ソーニャちゃんが太ったんだってー!

そういえばソーニャちゃんが二人いる!?
そうじゃねえ!

何で!? 分裂した!?
してねぇ!

ほとんど一緒でしょ!?
別物だ!

前にもあった偽物の刺客に決まってるだろ!
ええっ! そうなの!?

顔が全然違うだろ!

見れば分かるだろ! 全く似てない!

うーん…そうかな
並んだらもうどっちが本物か分からなくなっちゃった…

色が黄色いし手も足もあるから…
それくらいでしか認識してないのか…

どっちもバカそうで見分けがつかな…

私が本物だよ
証拠にお菓子をあげよう
わー本物だ！

ここまできたら
もういいだろう！
私こそがお前を
消すために来た刺客だ！

よく考えろ！
私はそんな事しない！
そういえば！
本物はこんなに
優しくない！

それは分かるが何故
ターゲットに化けてるんだ？
えっ？

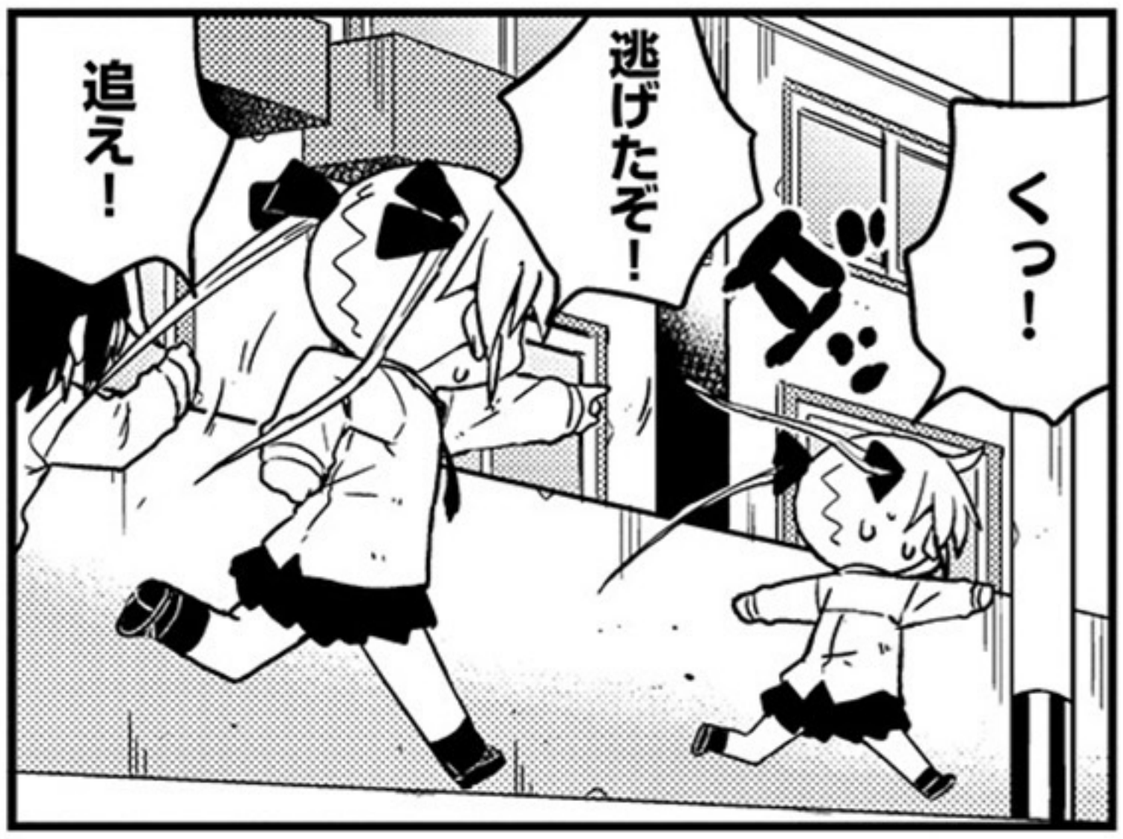
偽物め！
もう騙されないぞ！
もっとお菓子をあげよう

油断させる
ためとか…？
誰をだよ……

けど別に本物じゃ
なくてもいいかなぁ…
てめぇ!!

なるほど頭の悪さは
似ていると…

偽物がバカなのは
どうでもいい！
倒すだけだ！


くっ！
ダッ
逃げたぞ！
追え！

待て！
!?

追い詰めたぞ！
観念しろ！
フフフ…
まだ気づいて
いないようだな…

お前は自分と同じ顔を
した奴を殴れるのか？

刺客が二人組で
その合流場所へと
誘い込まれたことに…
バッ
何だと!?
もう一人はどこだ!!

だから似てねえって
言ってるだろ！

そして私がその場所を
間違えていることにも
気づいていない！
自分から
ばらしていくのか…

間抜けめ！今のうちだ！
ドガ
ヒュー
ゴッ
バキ
そこまでだ！

変わり身の術だと!? なんて卑劣な！
勝手にやったんだろ…

ここにいたか！
俺は刺客 キリング キックパンチャー！

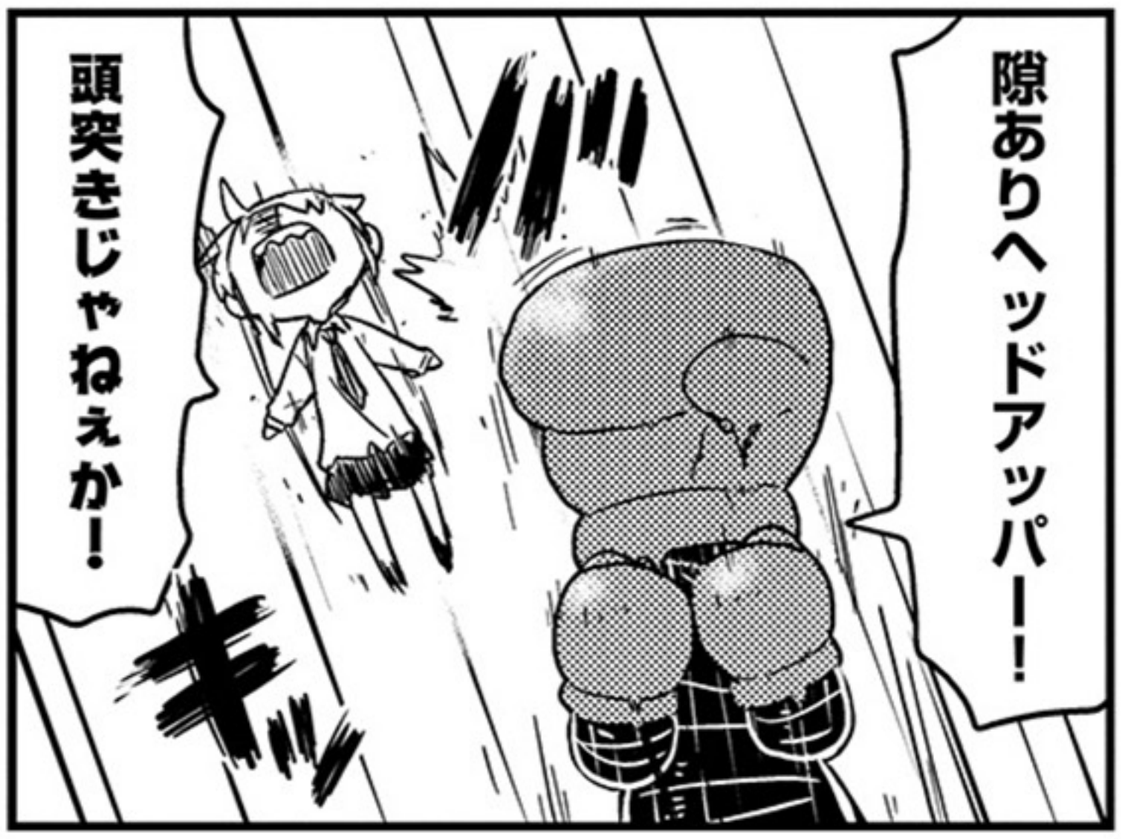
だが俺一人でも十分だ 行くぞ！
何故足にグローブを はめてるんだ？

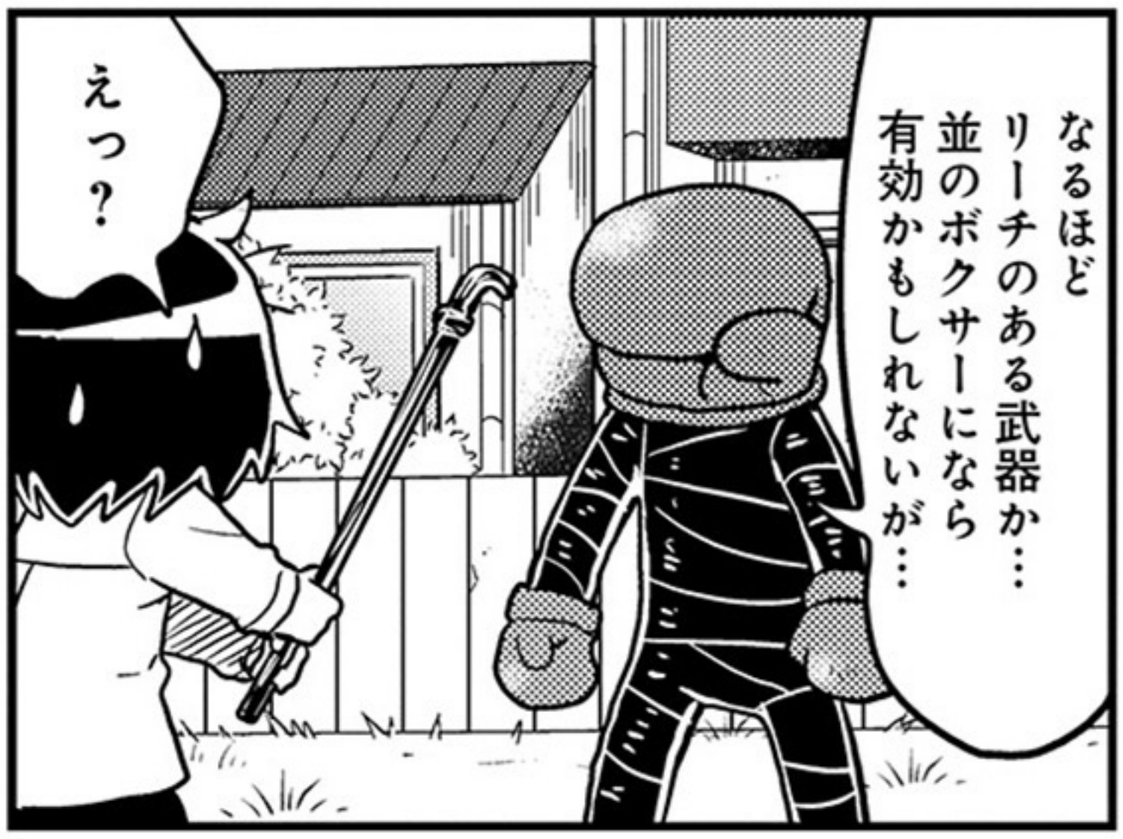
しまった 騒ぎすぎたか！
やった！
俺が来たからには もうおしまいだ

パンチが二発より 四発の方が強いだろう！
俺の編み出した暗殺拳だ！

覚悟しろターゲット！
よし！ こいつもバカだ

欠点は 歩きにくい事…！
ドォ
よく今まで 生きてこれたな

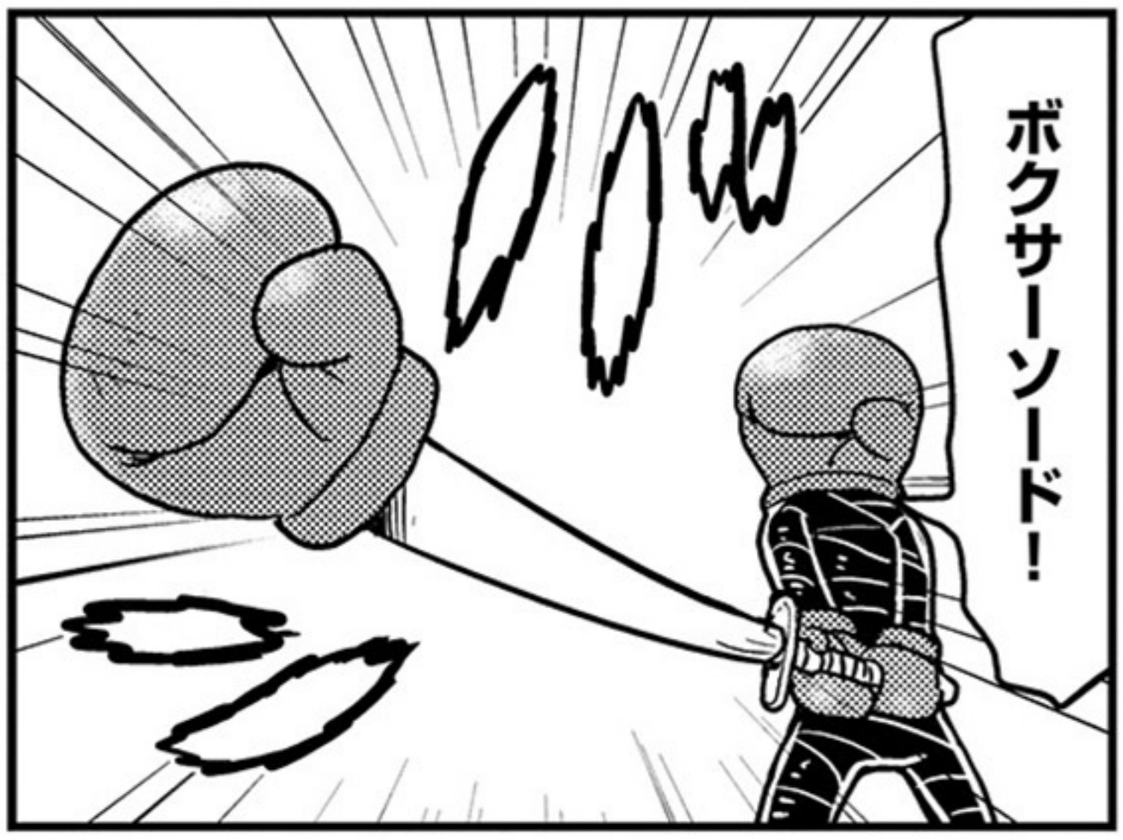

隙ありヘッドアッパー！
頭突きじゃねぇか！


なるほど
リーチのある武器か…
並のボクサーになら
有効かもしれないが…
えっ？

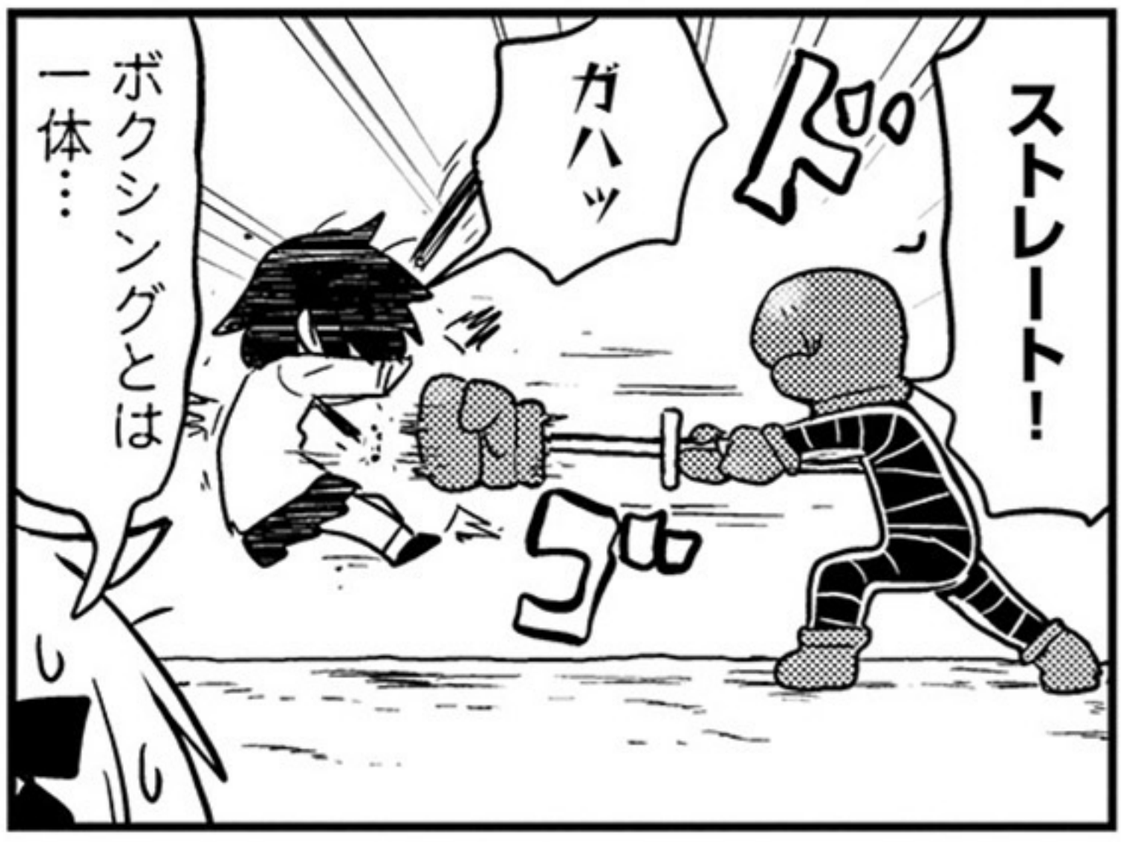
ソーニャちゃん
ここは私にいい考えが！
何!?

だが…！
俺の
キリングボクシング拳の
前には無意味だ！

ボクシングには
詳しいんだよ！
ボクサーの弱点なら
知ってる！


ボクサーソード！

ボクサーは
頭を鉄パイプで
殴られたら死ぬ！
誰でも
死ぬだろ…


ストレート！
ガハッ
ボクシングとは
一体…

お前の相手は私だ！
むっ 復活したか
ならば…！

今だ!!
ガハッ

ターゲットが手ごわい！
加勢してくれ
なっ!?

いいタイミングだ
良くやったな
ええっ!?
ソーニャちゃんが
優しい言葉を!?

何言ってる！ 私が本物だ！
偽物だけど！
違う私が本物だ！

二度も間違えるか！
こっちのより頭の悪そう
なのに決まってるだろ！
ゴン
よし！

さては偽物だな！
本物に比べて品のない
顔をしている気がする！

ぎゃああっ！
この非道さは本物！
ゴキ
ゴキ